



2025年3月期 第2四半期(中間期) 補足説明資料

－目次－

1. 会社概要	P1-3
2. 決算概要	P4
3. 連結損益の状況	P5-7
4. 連結貸借対照表の状況	P8
5. 連結キャッシュフローの状況	P9
6. 2025年3月期の業績予想・配当予想	P10

1. 会社概要

社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,222名（連結）
※2024年3月31日現在	1,211名（単体）
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡

無垢商品に強みのある 木質総合建材メーカー

構造材
Structure Materials

階段
Stairs

手すり
steel flat bar

家具TVボード
Furniture TV board

建具
Doors

キッチン
MUKU Kitchen

床材
flooring

ウッドワン 国内製造拠点



本社 / 本社工場



豊橋工場



蒲郡工場

国内子会社



株式会社ベルキッチン

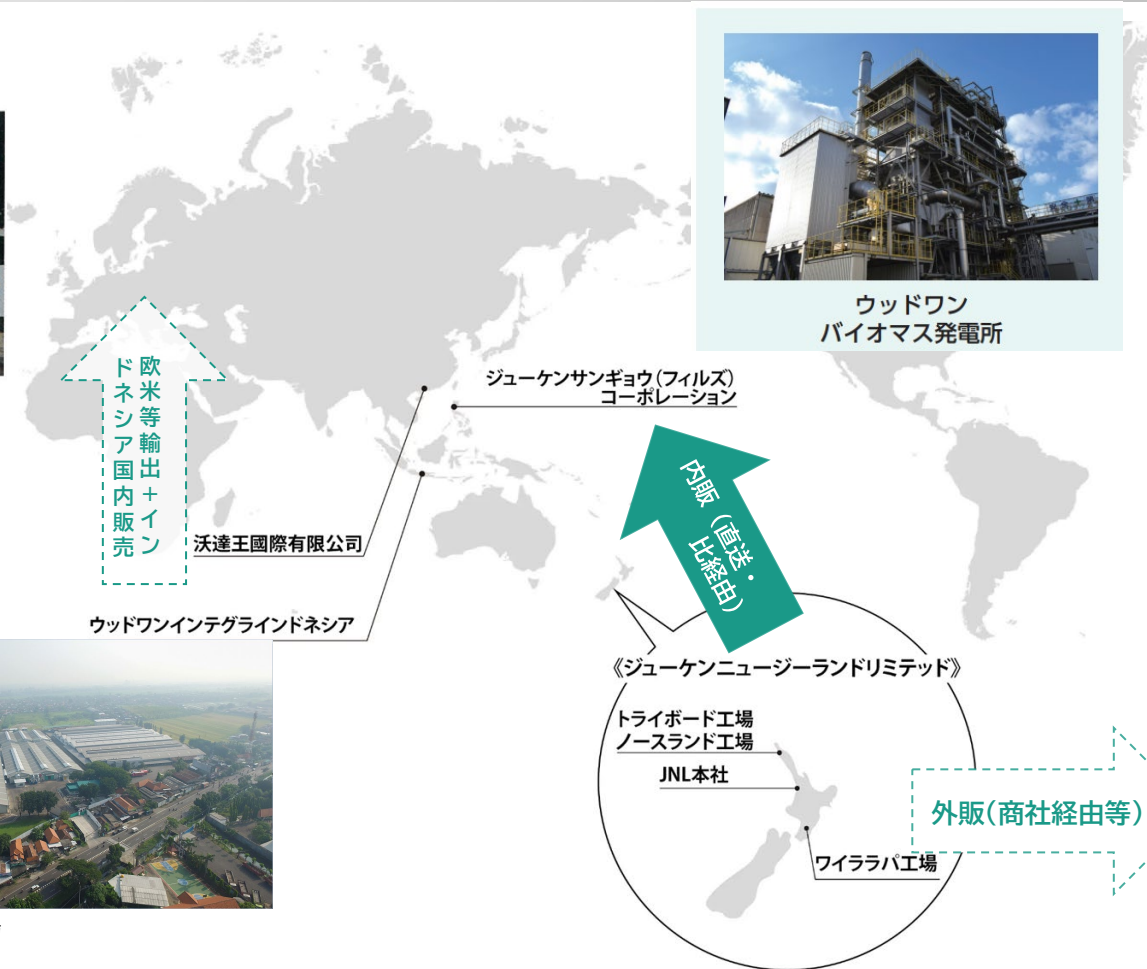


フォレストワン庄原工場（2024年4月11日 竣工）

(海外拠点)



フィリピン 工場



ニュージーランド トライボード 工場



ニュージーランド ノースランド工場



ニュージーランド ワイララバ 工場



インドネシア 工場

一貫生産体制

原材料の
確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

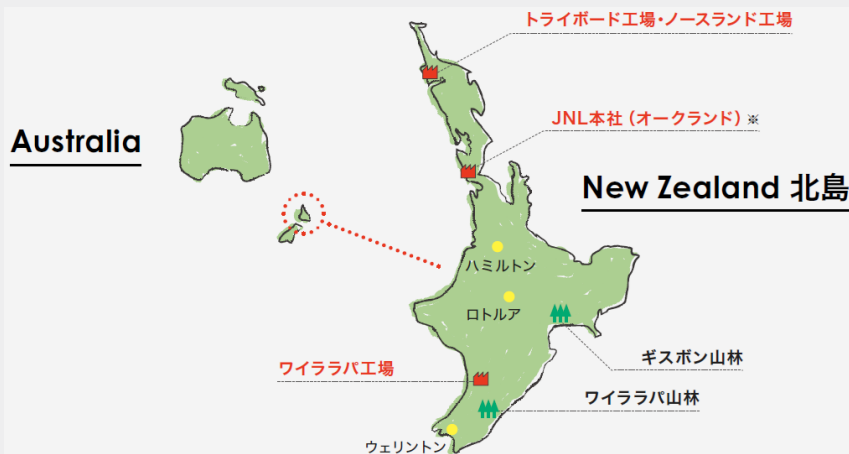
ニュージーランドで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

端材でバイオマス発電も

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。



GHG排出量	単位	2023年度 連結
CO2吸収量・固定量		
CO2吸収量 ※1	t-CO2	687,000
CO2固定量 ※2	t-CO2	94,000
排出量		
Scope 1(連結)	t-CO2	4,925
Scope 2(連結)	t-CO2	14,675
合計(Scope1+Scope2)	t-CO2	19,600

※1 CO₂吸収量=植林面積×年間平均生長量×(1-生材含水率)×炭素含有率×CO₂換算係数

※2 CO₂固定量=植林面積×年間平均生長量×ラジアータパイン材密度×炭素含有率×CO₂換算係数

2024年10月10日に発行したサステナビリティレポートから抜粋

30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



2. 決算概要



前期比 △1.9%



前年同期
営業損失 5.9億円



前年同期
経常損失 8.4億円



前年同期
中間純損失 4.8億円

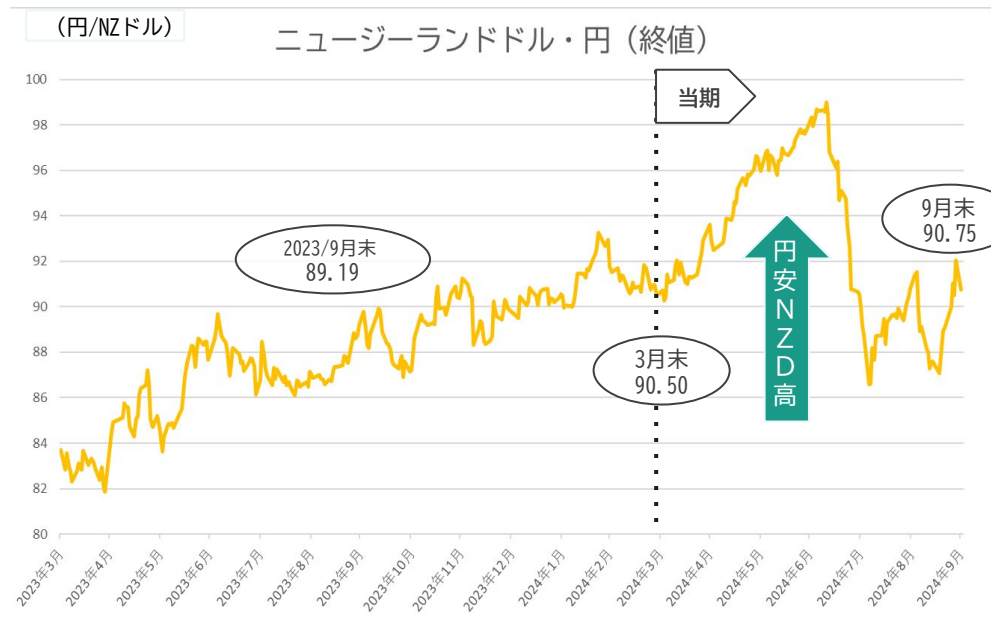
(当期の経営環境)

住宅価格の高騰から、当社主力販売市場である持家(注文住宅)+分譲戸建は前年から9.3%減少。
売上原価に対する影響度が高いNZDは、前年同期比で若干円安に推移。

【新設住宅着工戸数(持家+分譲戸建)推移】

(数量単位:千戸)

	持家+分譲戸建			持家		分譲戸建	
	戸数	前年比	増減率	戸数	前年比	戸数	前年比
2023年1~3月	86	92.6%	△ 7.4%	52	91.1%	33	95.2%
2023年4~6月	93	91.0%	△ 9.0%	58	88.1%	36	96.0%
2023年7~9月	95	91.1%	△ 8.9%	61	91.4%	34	90.8%
2023年10~12月	88	87.6%	△ 12.4%	53	83.8%	35	94.2%
2024年1~3月	77	90.2%	△ 9.8%	48	91.1%	30	89.0%
2024年4~6月	85	91.1%	△ 8.9%	54	94.0%	31	86.3%
2024年1~6月計	162	90.7%	△ 9.3%	102	92.6%	60	87.6%
2024年7~9月	88	93.3%	△ 6.7%	59	96.1%	30	88.1%

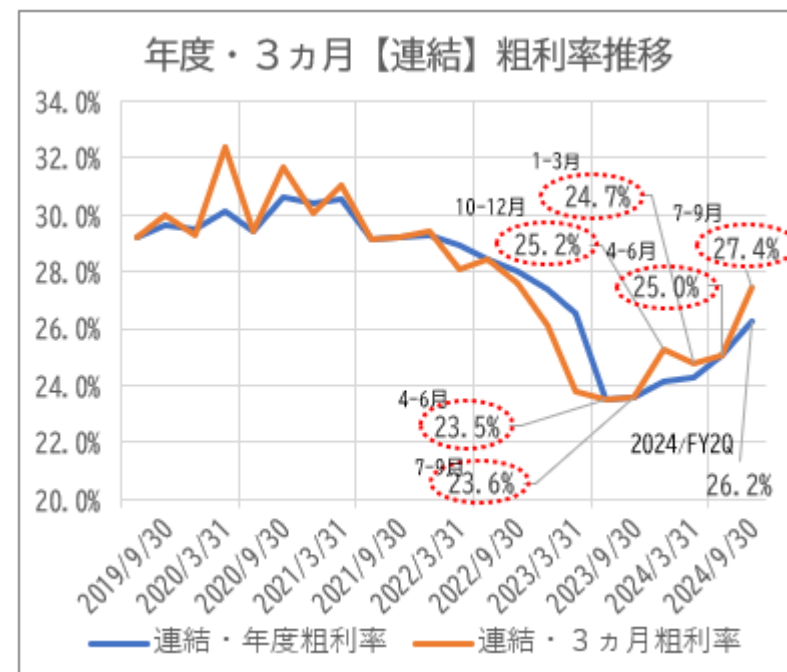


3. 連結損益の状況

- 国内の住宅需要の低下による販売数量の減少により、前年同期比で売上高が減少したものの、全社的なコストの見直し、前期のニュージーランド子会社の事業再編効果、インドネシア子会社の業績好調により、前年同期に比べ売上総利益、営業利益、経常利益、中間純利益とも増加。

(単位：百万円)

	2023年 9月期	2024年 9月期	前期比 増減
売上高	32,454	31,826	△627
売上総利益	7,641	8,346	+705
売上総利益率 (粗利率)	23.5%	26.2%	+2.7pt
販売管理費	8,238	8,061	△176
販管費比率	25.4%	25.3%	△0.1pt
営業利益	△597	284	+882
経常利益	△844	301	+1,145
親会社株主に帰属する 中間純利益	△485	161	+647



【粗利率】

連結・3ヵ月粗利率は前年度に入って徐々に改善。

■前年度

4-6月23.5% (為替除き 23.8%)、7-9月23.6% (為替除き 24.5%)
10-12月25.2% (為替除き 25.7%)、1-3月 24.7% (為替除き 25.5%)

■今年度

4-6月25.0% (為替除き 25.5%)、7-9月27.4% (為替除き 27.1%)

【経常利益】

国内グループ子会社フォレストワンの庄原新工場への設備投資等に対する補助金収入330百万円を含む。

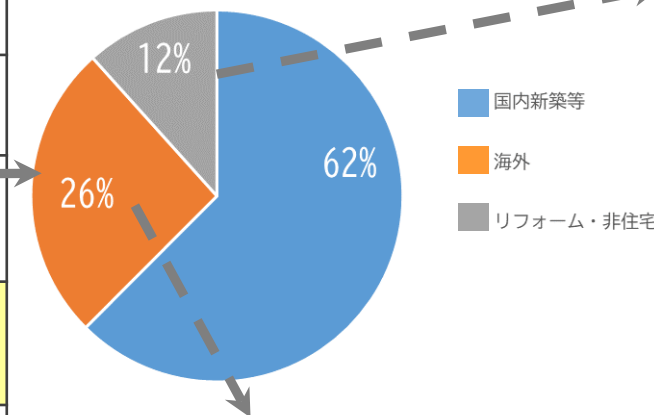
(セグメント情報)

- 住宅建材設備事業において、国内は住宅需要の低下により売上高は減少しているものの、価格改定、全社的なコストの見直しにより、利益面では黒字を維持。海外は前期のニュージーランド子会社の事業再編効果およびインドネシア子会社の業績好調により売上高、利益ともに前期比増加。
- 発電事業は、バイオマス燃料需要から依然、燃料代が高止まりしていることや、太陽光発電の急増に伴う電力需給バランスの調整のため、電気事業者からの「出力制御」の要請が引き続き多発したものの前年度に比べ減少し、売上高は前年同期をやや上回る水準を確保したものの、営業利益はやや減少。

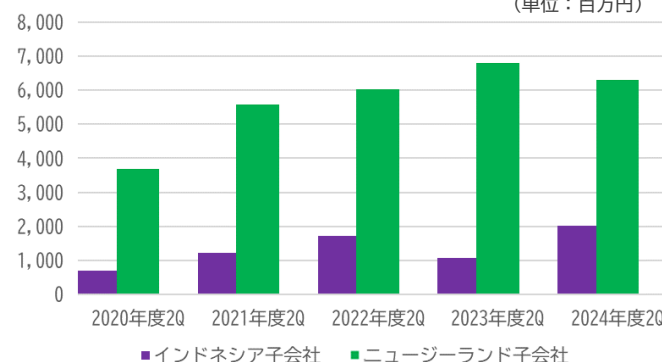
(単位：百万円)

	2023年 9月期	2024年 9月期	前期比 増減
売上高	32,473	31,847	△626
住宅建材 設備事業	31,956	31,320	△635
発電事業	517	526	+9
営業利益	△597	284	+882
住宅建材 設備事業	△632	259	+891
発電事業	34	25	△9

<売上高 | 住宅建材設備事業の内訳>

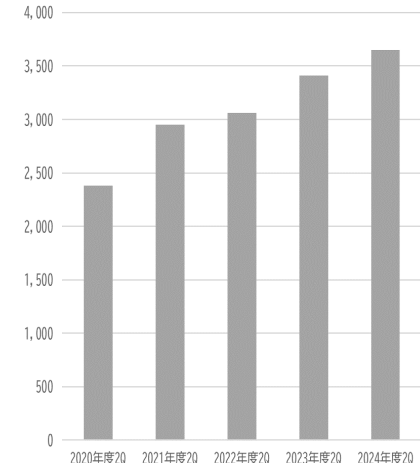


海外販売(2Q)推移



(単位：百万円)

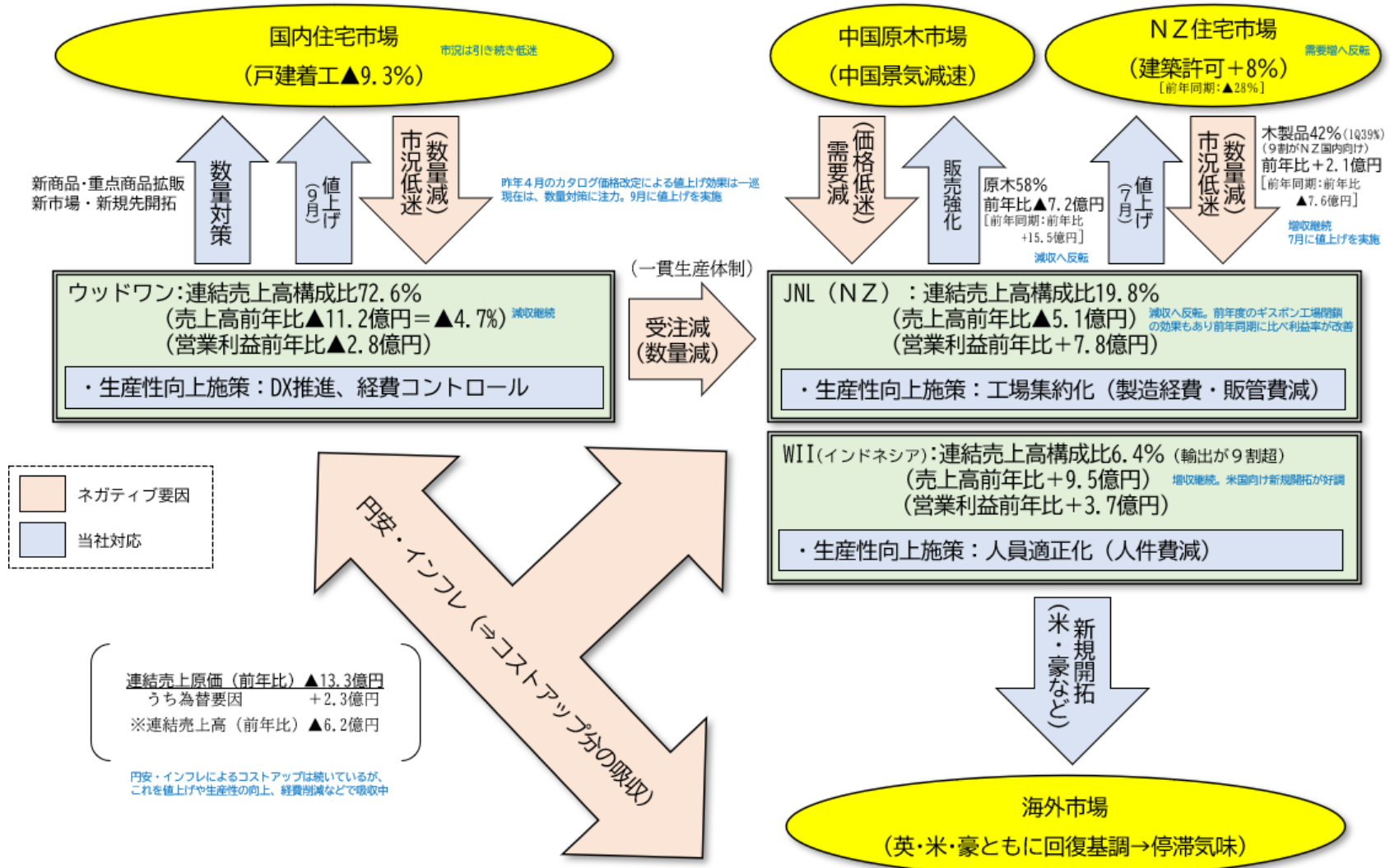
国内 リフォーム非住宅販売(2Q)推移



(注) 2024年9月期の住宅建材設備事業の売上高には、
発電事業への売上高20百万円が含まれております。

(主要会社の動向と今後の重要課題)

- 以下の図のとおり、ネガティブな経営環境にあるものの、価格改定、新規開拓、各社生産性向上施策を進めるなど前年同期比で利益面の改善。
- 今後は国内では付加価値商品の拡販、リフォーム・非住宅分野での売上拡大、海外ではニュージーランド子会社のさらなる業績改善、インドネシア子会社のさらなる売上拡大が重要課題。



4. 連結貸借対照表の状況

- 主にニュージーランド子会社の立木等の増加、投資有価証券の時価増加により固定資産が増加。
- 主に国内および海外子会社での設備資金や山林投資資金の調達により有利子負債が増加。

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2024年 9月期	増 減	為替影響除き	主な増減要因
流 動 資 産	28,865	28,614	△250	△215	
・ 現預金	5,161	4,028	△1,133	△1,108	← 納税資金・借入金約定弁済など
・ 棚卸資産	14,898	15,512	+613	+485	
・ 受取勘定他	8,804	9,074	+269	+408	
固 定 資 産	72,888	75,089	+2,201	+1,352	← ニュージーランド子会社の立木、投資有価証券時価等の増加
・ 有形固定資産（立木除く）	37,365	37,623	+258	△495	
・ 立木	22,220	22,909	+688	+625	
・ 無形固定資産	769	716	△53	△53	
・ 投資その他の資産	12,532	13,840	+1,307	+1,276	
資産合計	101,754	103,704	+1,950	+1,137	
流 動 負 債	32,222	32,414	+192	△539	
・ 有利子負債	20,390	22,131	+1,740	+1,453	
・ 支払勘定他	11,831	10,282	△1,548	△1,992	← 消費税・法人税・設備代金の支払に伴う未払金減少など
固 定 負 債	24,814	25,240	+425	+350	
・ 有利子負債	19,326	19,456	+129	+70	
・ その他	5,488	5,783	+295	+280	
(＊有利子負債合計)	(39,717)	(41,587)	(+1,870)	(+1,523)	← 設備投資や山林投資資金の調達
負債合計	57,036	57,654	+617	△188	
・ 株主資本合計	33,857	33,906	+49	+172	
・ その他包括利益累計額合計	9,912	11,204	+1,291	+1,162	← その他有価証券評価差額金等の増加
・ 新株予約権	90	65	△24	△24	
・ 非支配株主持分	857	872	+15	+15	
純資産合計	44,717	46,049	+1,332	+1,326	
負債純資産合計	101,754	103,704	+1,950	+1,137	

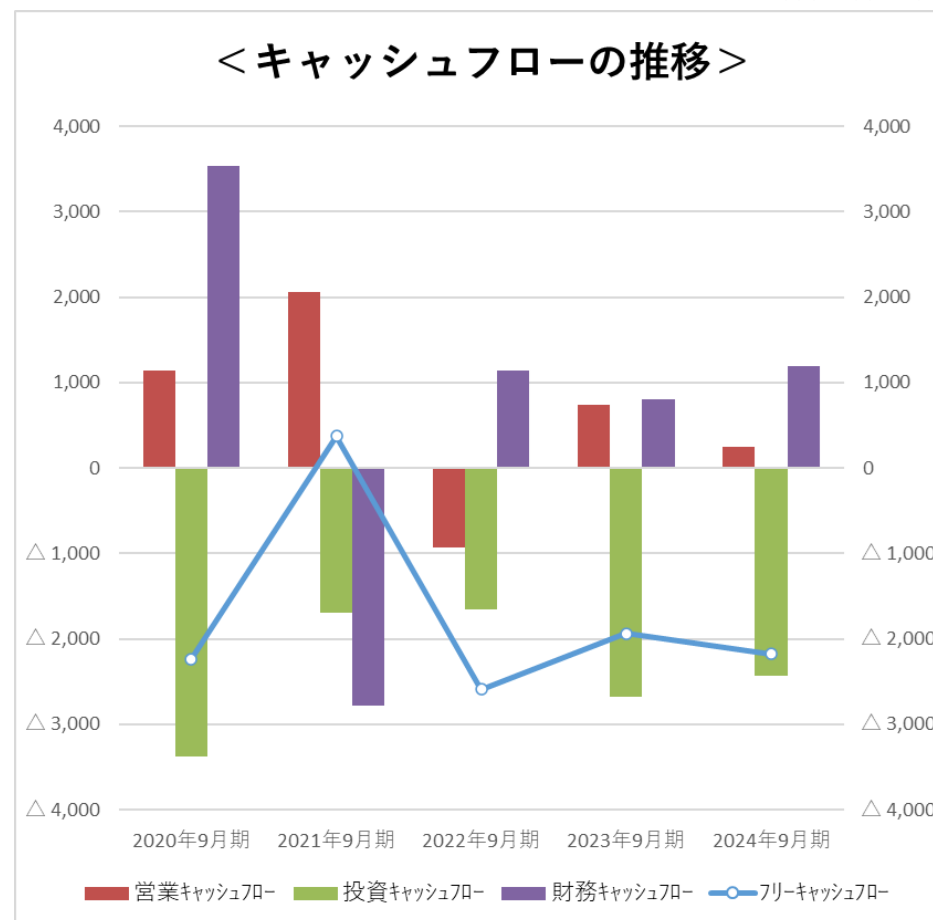
5. キャッシュフローの状況

- 営業CF：税金等調整前中間純利益は増加したものの、インドネシア子会社の売上増加に伴う棚卸資産調達などで前期比減少。
- 投資CF：主にニュージーランド子会社の山林投資・国内および海外子会社設備投資などでマイナス。
- 財務CF：主に国内および海外子会社での設備資金や山林投資資金の調達により増加。

(単位：百万円)

		2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期
	営業CF	1,137	2,063	△931	741	251
	投資CF	△3,374	△1,691	△1,657	△2,676	△2,429
フリーCF		△2,237	372	△2,588	△1,935	△2,178
財務CF		3,542	△2,782	1,135	810	1,196

(単位：百万円)



6. 2025年3月期の業績予想・配当予想

- 業績予想につきましては、足元の業績は若干上振れで進捗しているものの、引き続き経営環境（住宅着工・為替など）に注視が必要であるため、2024年5月10日に公表いたしました業績予想・配当予想から変更しておりません。

（単位：百万円）

[業績予想:連結]	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 予想	前期比
売上高	64,779	65,000	221
営業利益	△939	600	1,539
経常利益	△1,286	200	1,486
親会社株主に帰属 する当期純利益	△2,315	400	2,715

（単位：円）

[配当予想]	2024年 3月期	2025年 3月期 予想
中 間	12.00	12.00
期 末	12.00	12.00
年 間	24.00	24.00
配当性向	－	55.9%

2024年11月11日付でお知らせしましたとおり、ニュージーランド子会社にて火災が発生しました。幸いにも人的被害はなく、他工場での生産対応により、日本国内のお取引先様および当社への供給には支障がなく、ニュージーランド国内販売への影響も軽微と判断しており、現時点で業績への影響は軽微であると見込んでおります。

※予想数値は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後変動する可能性があります。